

令和 元 年度 事業報告書

横浜市立動物園等指定管理者

1 管理体制

2 運営および経営の取組

3 動物の飼育管理

4 施設等の維持管理

5 管理運営経費

令和元年度 横浜市立動物園等 事業報告書 目次

1 管理体制	1
(1) 動物園等の管理体制	1
(2) 人材育成	2
(3) 緊急・災害時の対応	4
2 運営および経営の取組	6
(1) 目標達成状況	6
(2) 集客対策	8
(3) 管理の質・来園者サービスの向上の取組	18
(4) 教育普及	20
(5) 自主事業等の取組	23
(6) 自己評価	28
3 動物の飼育管理	29
(1) 動物の飼育計画	29
(2) 動物舎および展示場の管理	29
(3) 動物の繁殖計画	30
(4) 動物の獣医学的衛生管理	31
(5) 野生動物の保護	31
(6) 調査・研究	32
4 施設等の維持管理	36
(1) 施設管理の基本事項	36
(2) 施設および設備の維持管理	37
(3) 園地および遊具等の維持管理	37
(4) 施設および設備等の安全対策	38
5 管理運営経費	40

□ 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市緑の協会
所在地	中区日本大通 58 番地 日本大通ビル 2 階 (本部)
代表者	理事長 上原 啓史
設立年月日	昭和 59 年 10 月 1 日
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日 (よこはま動物園、野毛山動物園、万騎が原ちびっこ動物園、金沢動物園ならびに野毛山公園、金沢自然公園)

□ 施設の概要

施設名	所在地	管理対象施設
よこはま動物園	旭区上白根町 1175- 1	管理施設、および便益施設
野毛山動物園	西区老松町 63-10	管理施設、および便益施設
野毛山公園 (動物園を除く)		
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65- 1 (こども自然公園内)	管理施設
金沢動物園	金沢区釜利谷東 5-15- 1	管理施設、および便益施設
金沢自然公園 (動物園を除く)		

□ 動物点数 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

よこはま動物園	100 種 754 点
野毛山動物園	93 種 2, 046 点
万騎が原ちびっこ動物園	3 種 181 点
小計	93 種 2, 227 点
金沢動物園	48 種 1, 566 点
合計	201 種 4, 547 点

□入園者数 (単位：人、カッコ内は前年度比%)

年度	よこはま動物園	野毛山動物園	万騎が原ちびっこ動物園	金沢動物園	合計
H11	2, 246, 476 (-)	354, 504 (75. 7%)	133, 355 (113. 2%)	399, 049 (65. 8%)	3, 133, 384 (-)
H12	1, 336, 842 (59. 5%)	374, 400 (105. 6%)	126, 780 (95. 1%)	283, 051 (70. 5%)	2, 121, 073 (67. 7%)
H13	1, 267, 011 (94. 8%)	509, 514 (136. 1%)	143, 070 (112. 8%)	286, 170 (101. 1%)	2, 205, 765 (104. 0%)
H14	1, 066, 189 (84. 1%)	474, 984 (93. 2%)	126, 192 (88. 2%)	268, 841 (93. 9%)	1, 936, 206 (87. 8%)
H15	1, 059, 479 (99. 4%)	531, 661 (111. 9%)	158, 962 (126. 0%)	271, 463 (101. 0%)	2, 021, 565 (104. 4%)
H16	959, 749 (90. 6%)	449, 658 (84. 6%)	185, 484 (116. 7%)	264, 134 (97. 3%)	1, 859, 025 (92. 0%)
H17	1, 014, 329 (105. 7%)	497, 875 (110. 7%)	172, 911 (93. 2%)	288, 524 (109. 2%)	1, 973, 639 (106. 2%)
H18	1, 044, 563 (103. 0%)	542, 537 (109. 0%)	157, 654 (91. 2%)	310, 237 (107. 5%)	2, 054, 991 (104. 1%)
H19	1, 107, 583 (106. 0%)	547, 461 (100. 9%)	131, 037 (83. 1%)	301, 503 (97. 2%)	2, 087, 584 (101. 6%)
H20	1, 153, 756 (104. 2%)	577, 807 (105. 5%)	134, 547 (102. 7%)	330, 496 (109. 6%)	2, 196, 606 (105. 2%)
H21	1, 221, 868 (105. 9%)	680, 777 (117. 8%)	140, 678 (104. 6%)	355, 067 (107. 4%)	2, 398, 390 (109. 2%)
H22	978, 791 (80. 1%)	659, 759 (96. 9%)	105, 277 (81. 8%)	316, 843 (89. 2%)	2, 060, 670 (85. 9%)
H23	959, 231 (98. 0%)	765, 085 (115. 9%)	128, 577 (122. 1%)	292, 333 (92. 2%)	2, 145, 226 (104. 1%)
H24	889, 489 (92. 7%)	992, 464 (129. 7%)	164, 733 (128. 1%)	279, 980 (95. 7%)	2, 326, 666 (108. 4%)

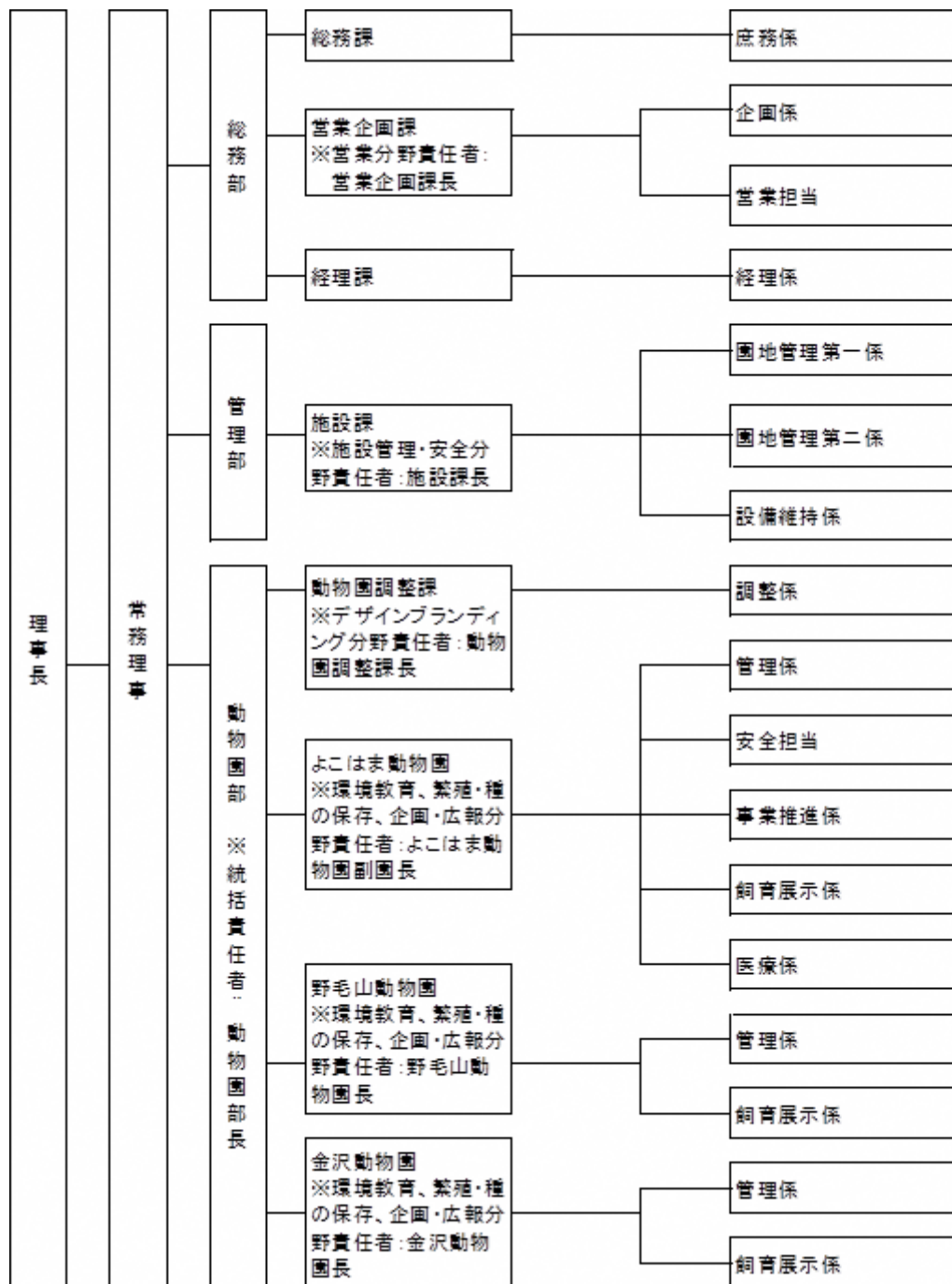
H25	920,787 (103.5%)	968,855 (97.6%)	174,078 (105.6%)	284,843 (101.7%)	2,348,563 (100.9%)
H26	941,781 (102.2%)	1,012,000 (104.4%)	185,864 (106.7%)	285,459 (100.2%)	2,425,104 (103.2%)
H27	1,216,132 (129.1%)	1,095,448 (108.2%)	138,266 (74.6%)	287,099 (100.6%)	2,736,945 (112.9%)
H28	1,086,486 (89.3%)	844,401 (77.1%)	121,509 (87.9%)	305,858 (106.5%)	2,358,254 (86.2%)
H29	1,149,654 (105.8%)	721,131 (85.4%)	126,563 (104.2%)	321,990 (105.3%)	2,319,338 (98.3%)
H30	1,077,317 (93.7%)	638,518 (88.5%)	121,219 (95.8%)	299,098 (92.9%)	2,136,152 (92.1%)
R1*	982,820 (91.2%)	548,927 (86.0%)	106,528 (88.0%)	246,982 (82.6%)	1,885,257 (88.3%)

* 令和元年度は台風被害による臨時休園（三園：10月12・13日、よこはま動物園：9月9日、金沢動物園：9月10・25・26日）および新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休園（三園とも：2月29日～3月31日）を実施しました。

1 管理体制

(1) 動物園等の管理体制

当団体は多くの都市公園を管理していることから、一元化することによってより効率的・効果的に遂行できる業務については、本部に統括部門を置いて執行しています。業務の円滑化を図るため、統括責任者の下に動物園調整部門を置き、動物園の現場には、高い専門性を発揮できるよう、責任者として課長職を、専門分野ごとの責任者として係長を配置し、各園の管理運営を行いました。



(2) 人材育成

動物園の中心的な役割を担う動物職、獣医職等の専門職の育成については、長期的に取り組むべき課題と位置付けています。階層別、分野別の研修を通じ、OJT（職場内訓練・教育・研修）およびOff-JT（職場外訓練・教育・研修）を組み合わせる人材育成に取り組むほか、必要な資格の取得を奨励しました。

令和元年度においては、動物園における事故防止を目的とし、外部講師によるヒューマンエラー対策研修を新たに実施しました。

① 各種研修の実施

令和元年度に実施した研修は以下のとおりです。

【令和元年度 研修実施・参加実績】

<基本研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
6月24日、7月4・5・12・16・17・29・30日	CS・接客・個人情報保護研修	全職員	各回3時間30分
9月4・5・6日	普通救命講習（AED含む）	新採用職員、未受講者および前受講から3年経過した者	各回3時間
10月4・7・8日	ハラスメント・メンタルヘルス研修	管理職	各回4時間
10月4・7・8日 ほか適宜	人権研修	全職員	各回1時間30分 または適宜
12月13日	安全運転講習	業務上、車両を運転する職員のうち希望者	1時間30分
適宜（管理職から職員へ各所属にて実施）	職員向けメンタルヘルスクエア研修	全職員	適宜

<一般業務研修>

実施日	研修名	対象者	実施時間
4月11日、5月27・30・31日	広報研修	広報担当者	各回2時間
6月11日	ブログ研修	希望者（よこはま）	1時間
6月20日	文書・経理事務取扱研修	新採用職員および希望者	2時間15分
10月25日	経理事務取扱研修Ⅱ・設計積算研修	経理事務に携わる職員のうち希望者	2時間45分
12月2・3・9日	ヒューマンエラー対策研修（新規）	動物園部職員	各回2時間

< 専門職研修 >

実施日	研修名	対象者	実施時間
4月23日、6月21日、 7月19日、8月9日、 9月13日、10月25日、 11月20・29日、12月 13日、1月24日、2月 19日	楽しく学ぶ動物園学（よ こはま動物園園長によ る講義）	飼育展示係職員（よこはま）	各回 30 分
10月8・15日、11月5 日、12月3日	インバウンド研修（おも てなし英語セミナー）	希望者	各回 3 時間 30 分
12月17～19日	日本動物園水族館協会 動物園技術者研究会	飼育展示係職員	15 時間 15 分
11月18日	危険予知トレーニング 研修	飼育展示係職員（金沢）	1 時間 30 分
1月27、28日	野生生物保護研修	飼育展示係職員	2 時間 15 分
1月22、23日	日本動物園水族館協会 動物園参加型研修会	教育普及担当職員	11 時間
2月24日	栄養学研修	飼育展示係職員	1 時間 30 分

< 階層別研修 >

実施日	研修名	対象者	実施時間
4月1日	新採用職員研修	新採用職員	4 時間 15 分
4月2日	新採用飼育・ガイド研修	新採用飼育展示係職員	3 時間
10月29日、11月20日	動物園学研修（野毛山）	新採用飼育展示係職員	各回 2 時間
12月9・10・11日	係長職研修	係長職	5 時間
12月9・10・11日	勤務評価研修	係長職	30 分

② 資格取得の奨励

業務上必要とされる資格について、取得の奨励を行った結果、以下の通り 41 名が新規に資格を取得しました。

【令和元年度 資格取得実績】

資格名	人数
飼育技師	10（よこはま 4、野毛山 5、金沢 1）
学芸員	1（動物園調整課）
フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育	1（よこはま 1）
振動工具取扱作業従事者特別教育	7（よこはま 7）
刈払機取扱作業従事者安全衛生教育	6（よこはま 4、金沢 2）
小型車両系建設機械運転特別講習	1（よこはま）
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育	17（よこはま）
安全運転管理者	1（野毛山）
食品衛生責任者	2（野毛山）

③ その他

職員が安心して業務に取り組むことのできるよう、健康管理および職場環境の維持に取り組みました。

【令和元年度 健康管理・職場環境づくり実績】

項目名	実施日
定期健康診断	7月～12月
予防接種（破傷風、B型肝炎）	5月～12月
一般的な感染予防対策	適宜
安全衛生委員会（よこはま）	毎月1回
衛生推進委員会（野毛山・金沢）	適宜

(3) 緊急・災害時の対応

各園にて緊急対応体制や緊急対応マニュアルの整備と適宜見直しを行い、定期的な訓練を行いました。

よこはま動物園では、旭消防署・旭消防団の協力により、消防ポンプ訓練、水消火器訓練、避難誘導訓練等の実用的な訓練を行いました。

野毛山動物園では、西消防署職員を迎え発災確認、集合、消火、来園者誘導訓練等実際に即した訓練を実施したほか、独自に地震による猛獣舎倒壊を想定し、オグロワラビーが脱走した想定で動物逃亡捕獲訓練を行いました。

金沢動物園では、動物逸走時の捕獲、来園者の避難誘導・救護訓練を行いました。捕獲・避難誘導・救護・情報等の班編成を行い、逸走時の各班の動きや連携について実践するとともに、当団体本部や近隣関係諸機関との連絡体制を確認の上、無線による情報受伝達のシミュレーション訓練を行いました。

【令和元年度 訓練実施実績】

< 情報受伝達訓練（当団体全体） >

実施日	9月20日
実施場所	横浜市緑の協会本部、よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園、その他当団体管理の各公園および駐車場
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、 約300名
訓練項目	情報受伝達訓練
訓練内容	午前11時に、横浜市域で震度5強の地震が発生した想定の下で、情報受伝達訓練を実施。動物園においては、職員の被災・出勤状況の把握、園内の被災状況を調査（職員・委託業者ともに無線にて）し、一般住民の避難受け入れ態勢の整備を指示し、動物園調整課に情報を集約した。また、各園ともに無線による被災状況の把握も実施した。各種被災状況を協会本部総務課へ報告した。

<防災訓練>

よこはま動物園

実施日	9月19日
実施場所	ころころ広場
参加人数	旭消防署員、旭消防団、横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、約30名
訓練項目	避難誘導訓練、体験訓練
訓練内容	様々な災害に備えて旭消防署の協力の下、職員による屋内消火栓操作訓練、水消火器による消火訓練、煙体験を実施した。

野毛山動物園

実施日	9月24日
実施場所	チンパンジー前広場
参加人数	西消防署員、横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ、30名
訓練項目	発災、集合、消火、来園者誘導訓練
訓練内容	様々な災害に備えて西消防署の協力の下、職員による水消火器による消火訓練、状況に応じた来園者の誘導法を実践する訓練を実施した。

金沢動物園

実施日	11月11・20日
実施場所	わくわく広場、金沢自然公園ののほな館裏
参加人数	金沢消防署釜利谷出張所長、横浜市緑の協会職員 約15名、 委託業者スタッフ 約10名
訓練項目	初期消火体験訓練
訓練内容	金沢消防署釜利谷出張所の協力の下、初期消火訓練を実施した。 園内の防災設備の使用方法を学び、実際に消防ホースを格納庫から出し、消火栓とつなぎ、放水訓練を行った。併せて、水消火器による消火訓練も行った。

<動物逃亡捕獲訓練実施実績>

実施日	2月3日（金沢動物園）、2月4日（よこはま動物園）、2月25日（野毛山動物園）
実施場所	よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園
参加人数	横浜市緑の協会職員、委託業者スタッフ 約100名
訓練項目	避難誘導訓練、逃亡動物の捕獲訓練等の実践訓練
訓練内容	横浜市内で大規模な地震が発生した想定の下で、避難誘導・動物逃亡捕獲訓練を実施した。園内の被災状況を調査（職員・委託業者スタッフともに無線にて）し、園内にお客様がいたら想定しての誘導訓練、災害時に動物が逃亡したことを想定しての飼育動物捕獲訓練を実施した。各施設は「被害状況報告書」にて施設の損壊状況、負傷者の発生状況等を協会本部総務課へ報告した。

2 運営および経営の取組

(1) 目標達成状況

① 入園者数

令和元年度横浜市立動物園等の管理に関する年度実施協定書に定めた目標に対する実績は以下の通りでした。

よこはま動物園の入園者数は約 98 万人、野毛山動物園は約 55 万人、金沢動物園は約 25 万人、三園合計は約 178 万人となりました。

令和元年度は 9 月に台風被害復旧のための臨時休園（三園：10 月 12・13 日、よこはま：9 月 9 日、金沢：9 月 10・25・26 日）および新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休園（三園とも：2 月 29 日～3 月 31 日）を行いました。繁忙期である 3 月の入園者数がゼロとなる等、この臨時休園が大きく影響し、目標入園者数を達成することはできませんでした。

園名	目標入園者数	令和元年度入園者数 (目標達成率)
よこはま動物園	1,250,000 人	982,820 人 (91.2%)
野毛山動物園	721,131 人 (平成 29 年度入園者数)	548,927 人 (86.0%)
金沢動物園	330,000 人	246,982 人 (82.6%)

② 種の保存（国際的な繁殖計画への参画・連携数）

国際的な繁殖計画への参画・連携数は、目標 10 種に対し、スマトラトラやセスジキノボリカンガルー、オカピ等 9 種について、参画・連携をしました。また、アラビアオリックス、ヤブイヌについて将来的な個体搬入に向けて調整を継続しました。

元年度の目標	キノボリカンガルー・レッサーパンダ等 10 種について、国際的な繁殖計画へ参画・連携する。
取組概要	<p><参画した種></p> <ul style="list-style-type: none"> スマトラトラ (GSMP*) : GSMP に沿って、No. 5♂×No. 4♀のペアリングを実施し、8 月に No. 12♀が誕生。母親のミルク量が不足し衰弱がみられたため人工哺育に切り替え無事成育。その後 No. 4♀の発情にあわせペアリングを再開するも交尾に至らず。また、1 月に No. 13♀を導入。今後繁殖に取り組む予定。 セスジキノボリカンガルー (GSMP) : GSMP に沿って、No. 10♀の発情にあわせ No. 11♂を同居し、交尾確認するも繁殖に至らず。 レッサーパンダ (GSMP) : 繁殖期に GSMP に沿って、No. 22♂×No. 19♀のペアリングを実施し、7 月に No. 24 が誕生するも未熟児のため生後 3 日で死亡。その後繁殖期にペアリングを実施し交尾確認。 オカピ (SSP**) : SSP に対し計画変更を協議し、了承を得た。それに基づき、次年度、上野動物園からオス個体をよこはま動物園へ導入予定。また金沢動物園のオス個体を上野動物園へ移動予定。

	<p><連携した種></p> <ul style="list-style-type: none"> ヘサキリクガメ：国際血統登録者およびカーディフ大学（イギリス）と協力して遺伝子解析を実施するにあたり、血液サンプルを輸入する予定であったが、血液サンプルの個体選出に遅れが生じ、輸入までには至らず。国際血統登録者等との情報共有並びに情報交換等は継続して実施している。 コアラ（アンバサダー契約）：アンバサダー契約の下、国内の繁殖計画に基づき、導入した新規個体も含めた飼育報告をする等関係機関との調整を実施。 テングザル（保護協定）：年次飼育報告書をインドネシア政府へ送付。インドネシア大使館と契約更新について調整を諮るとともに、SEAZA 出席の際に個体導入について協議した。 ウンピョウ：国内種別計画管理者として EEP***へ飼育報告を行うとともに、繁殖に向けた取り組みとして人工繁殖の取り組みについて報告を行った。 ヤブイヌ：EEP 調整者との調整の上、カークリーホール動物園（イギリス）から No. 59 ♂、トワイクロス動物園（イギリス）から No. 60 ♀ 導入。No. 59 はその後死亡。No. 60 ♀ は No. 40 ♂ とペアリングを実施し交尾確認するも妊娠に至らず。 <p><継続して調整中の種></p> <ul style="list-style-type: none"> アラビアオリックス：新規♀個体の導入に向けて、アメリカから輸入する上での衛生条件について調整。 インドライオン：国際血統登録者へ飼育報告書を送付。ネール動物園（インド）からの♀個体導入について調整継続中。
--	--

*GSMP: 世界動物園水族館協会 (WAZA) が策定する国際種管理計画

**SSP: 北米動物園水族館協会 (AZA) が策定する種保存計画

***EEP: 欧州動物園水族館協会 (EAZA) が策定する欧州絶滅危惧種計画

③ 環境教育

環境教育プログラムの改善については、目標 3 件に対し、5 件を改善しました。

元年度の目標	学校等の団体に 24 種の環境教育プログラムを実施し、これらプログラムについての改善を 3 件以上行うこととする。
取組概要	<p>学校等の団体に 30 種の環境教育プログラムを実施（P. 20 参照）し、以下のとおり、プログラムの改善を 5 件行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミニレクチャー「獣医師のお仕事」（よこはま）（追加）：プログラムを新たに追加し、学校等団体のニーズに合うよう改善した。 来園プログラム「飼育員の一日（野毛山）」（改善）：これまで試行してきた園内プログラムを正規プログラムに追加し、学校等団体のニーズに合うよう改善した。 「どうぶつ園のじゅうい」（野毛山）（改善）：申し込み資料と HP の記載をわかりやすく改善した。 職業学習（金沢）（改善）：職業学習の来園プログラムにおいて、説明用フリップを新たに作成し、参加者が視覚的に理解しやすいよう改善した。 コケコケぶーぶー～ミニブタと遊ぼう～（金沢）（改善）：近隣県での豚熱の発生を受け、動物のレパトリーからミニブタを削除し、プログラムの実施に影響が生じないよう改善した。

(2) 集客対策

① 主要な取組

ア 里山ガーデンフェスタとの連携（継続・拡充）

よこはま動物園では、隣接地区で開催した里山ガーデンフェスタとの連携に取り組みました。入園口での里山ガーデンフェスタをPRする花壇装飾、動物園のイベントポスター内での里山ガーデンフェスタの紹介、パンフレットを制作する等広報における連携を実施したほか、里山ガーデンフェスタにて実施の「重ね押しスタンプラリー」参加者に対して平日の入園料を5割引するサービスの提供、里山ガーデン内でのバードショーの実施、ズーラシア20周年をPRするパネル展示等、イベントにおける連携も行いました。（※令和2年春の里山ガーデンフェスタは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止に伴い連携事業も中止）

イ よこはま動物園開園20周年事業

よこはま動物園は平成31年4月に開園20周年を迎えました。記念事業として、以下の通り式典、シンポジウム、イベント、キャンペーン等に取り組みました。

記念ロゴ	開園20周年を記念しロゴを制作した。20周年に関連するベントや広報、園内の装飾などで使用した。
記念式典	20周年を記念した式典を開催した。（参加者78名）
記念年間パスポート	20周年を記念したデザインの年間パスポートを販売し、購入者にはエコバッグをプレゼントした。
特設サイト	20周年に関連する企画等を掲載する特設サイトを開設した。
20周年記念誌	開園20周年の記念誌を制作した。
記念シンポジウム	よこはま動物園の20年の歩みや動物飼育の歩みがテーマのシンポジウムを実施予定であったが、台風被害や新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休園等により今年度の実施をとりやめ、令和2年度に実施する予定。
特別企画20組ご招待！	20組限定で、モーニングツアー、ガイドツアー、飼育体験、半日園長などの特別企画を実施した。
記念特別企画展	よこはま動物園の沿革や20年間の出来事を紹介する企画展を実施した。
記念撮影スポット	特別な記念撮影スポットを正門付近に設置した。
動物人気投票	ホームページで動物の人気投票を行い、投票で上位になった動物のポストカードを作成した。
動物たちにプレゼント	動物へ餌やおもちゃなどをプレゼントする特別ガイドを20回実施した。
企業との連携企画	横浜市の地元企業や繊維商社との連携企画を実施した。（次項参照）
タイムカプセル開封	開園10周年にアマゾンセンターに設置したタイムカプセルを2020年4月に開封予定。

② 企業等と連携したキャンペーン

ア 三園での取組（KDDI（株）（au）との連携・継続）

三園での新たな取組として、KDDI（株）の携帯電話事業と（株）博報堂が共同で制作するスマートフォンアプリ「one zoo」への参画を継続して行いました。アプリ

内で限定の動画や画像を提供することで三園への興味を高めてもらうほか、デジタルスタンプラリーや音声ガイドの提供により来園促進効果を狙ったものです。また、KDDI との連携としては、引き続き、よこはま動物園と金沢動物園において、「au スマートパスプレミアム」に加入しているユーザーを対象に、入園料が無料となるキャンペーンを毎週日曜日に実施しました。このキャンペーンにより来園促進を図った結果、よこはま動物園で6,413名、金沢動物園で1,218名の利用がありました。

イ よこはま動物園における取組（新規）

よこはま動物園では、開園20周年の重点施策として、企業と連携した取り組みを複数実施しました。横浜市の地元企業であるタカナシ乳業(株)、(株)崎陽軒、(株)ありあけとの連携により、よこはま動物園20周年を記念する特別パッケージの商品を各社から発売しました。また、繊維商社の(株)豊島が進めているオーガニックコットン普及プロジェクトとタイアップしたコラボTシャツを「サマンサモスモス」店舗で全国販売し、20周年を広くアピールしました。

このほか、冬に、相鉄・JR直通線が開通したことから、相模鉄道(株)との連携企画として、開業記念に配布された1日乗車券を持参した方を対象に入園料割引を行い、相鉄線利用者に対してよこはま動物園のPRを行いました。

ウ 野毛山動物園における取組（継続・新規）

野毛山動物園では、継続的な取組として、動物園の近隣に位置するWINS横浜との連携として、WINS横浜を運営するJRA（日本中央競馬会）のマスコットキャラクターである「ターフィー」および「ハローキティ」の着ぐるみによるグリーティングを行い、地域全体としてのにぎわいの創出と来園者サービスを図りました。

また、神奈川県共同募金会と連携し、園内で飼育する動物を共同募金PR大使として任命するイベントを例年実施しています。令和元年度はカグーが大使に就任し、募金時に提供するピンバッジのモデルとなりました。この取組については共同募金会の広報誌等を通じて広く周知を行いました。

このほか、新たな取り組みとして、商業施設「みなとみらい東急スクエア」との共催により「動物ものしりクイズラリー」を夏休み期間に実施しました。野生動物や自然環境の保護意識を高めてもらうことを目的とし、クイズラリーポイントに動物の解説パネルを設置するほか、「野毛山動物園の動物たち」パネル展も実施し、当該施設への来場者にイベントを通じて動物について学ぶ機会を提供し、ファミリー層を中心に動物園に興味を持っていただくよう取組みました。

エ 金沢動物園における取組（新規）

金沢動物園では、環境保全活動に取り組むイオン(株)と連携し、かなざわバレンタインチョコまつり（2月8・9日）において、フェアトレード商品の販売やパネル展示、動物ガイド等を通じて、環境保全に係る啓発活動を実施しました。

また、12月12日から約1か月の間、キングレコード(株)と連携し、アイドルグループ「ももいろクローバーZ」のメンバーとのコラボ企画としてゾウガイドを毎日行いました。ガイドにはのべ約2,000人の参加があったほか、SNSでも話題となり、金沢動物園の知名度の向上に寄与しました。

③ 広報

ア 目標達成状況

広報活動に関する目標達成状況については以下のとおりでした。

ホームページのイベント特設サイト、SNS等、インターネットの活用に特に力を入れて広報活動を実施しました。「よこはま夜の動物園」については、新たに近隣都県でのファミリーレストランにおいてテーブルステッカー広告を実施し、広域的な集客に努めた結果、イベント実施時の入園者数が前年度比 16,252 人増加しました。

種別	媒体	元年度目標および実績	
直接 広報	ポスター、チラシ、ホームページ、SNS等 (P. 11、13 参照)	目標	ポスター制作：5回 (30年度と同等) ホームページイベント特設サイト制作：2回
		実績	ポスター制作：5回 ホームページイベント特設サイト制作：2回
間接 広報	記者発表、雑誌、市・区 広報紙、web (P. 15 参照)	目標	メディア掲載件数：1,000 件
		実績	主要なメディア掲載件数：820 件 (他 59 件含) 新聞：178 件、テレビ：97 件、雑誌：391 件、 インターネット：95 件
広域 広報	高速道路 PA、ファミリー レストランでの PR (P. 15 参照)	目標	2回(30年度と同等) 新規直接広報媒体開拓:1件
		実績	2回 新規直接広報媒体開拓:1件

イ 直接広報

(ア) 看板類の掲出

各園の利用者層やエリアに合わせて多様な媒体・方法で広告・宣伝活動を行いました。ポスター・看板類は、三園ともに市民利用施設、鉄道事業者、バス運行会社等に協力を依頼し、広く掲出しました。

【令和元年度 主な看板類掲出状況】

園名	掲出場所
よこはま	横浜駅 (相鉄線)、鶴ヶ峰駅 (相鉄線)、三ツ境駅 (相鉄線)、 中山駅 (グリーンライン・JR)、日吉駅 (グリーンライン)、新横浜駅 (ブルー ライン)、横浜駅 (ブルーライン)、動物園入口交差点に看板掲出
野毛山	バナーフラッグ (動物園通り)、野毛山動物園前バス停前・野毛坂中間の三園 掲示板、案内矢印 (中央図書館前)、野毛ちかみち掲示板、ラッピングバス「ぶ らり野毛山動物園 BUS」
金沢	関東学院大学・すずらん商店街との共同バナーフラッグ (すずらん商店街)、 大型看板 (金沢文庫駅ホーム)、看板掲出 (金沢文庫駅西口階段)、バナーフラ ッグ (ふれあい商店街)、ベンチ看板 (JR 洋光台駅ホーム)

ウ 各種広報印刷物（ポスター、チラシ、リーフレット等）の発行・配布
 観光施設や交通機関、公共機関、近隣施設等にリーフレットやイベントチラシを設置し、動物園の情報を積極的に発信しました。

よこはま動物園では、里山ガーデンフェスタと連携して作成したリーフレットを市内で広く配布し、里山ガーデンとあわせて来園を促進するよう取り組みました。

野毛山動物園では、飲食業協同組合や商店街等近隣地域の団体と連携し、各店舗でのポスターの掲出や「ナイトのげやま」チラシの配布等を行いました。

金沢動物園では、年間を通じて、イベントチラシを自治会町内会の掲示板に掲出してもらったほか、区内商店街での季節のイベントポスター掲出を行いました。また、1月上旬には、「かなざわバレンタイン・フェアトレード de チョコまつり」のチラシ約1万部を金沢区内の全小学校へ配布しました。

三園共通の取組としては、夏のイベントチラシを発行し、市内の全小学校・幼稚園のほか、近隣自治体の小学校・幼稚園等へ配布しました。

【令和元年度 広報印刷物】

<三園>

発行時期	内容
令和元年7月	夏のイベントチラシ A5版 653,415部
令和元年7月	よこはま夜の動物園2019ポスター B1版 421部、B3版 3,356部

<よこはま動物園>

発行時期	内容
平成31年4月	ズーラシアマップ（日本語版）150,000部
令和元年6月	イベントガイド 夏号 35,000部
令和元年7月	夏イベントポスター B1版 265部・B3版 2,950部、夏イベントチラシ A4版 34,220部、ズーラシアマップ（日本語版）300,000部、ズーラシアマップ（外国語版）3,000部
令和元年8月	ナイトズーラシア専用マップ A4版 30,000部、夏イベントポスター（JR）B1版 190部
令和元年9月	秋イベントポスター B1版 267部・B3版 2,984部、秋イベントチラシ A4版 33,975部 イベントガイド 秋号 60,000部
令和元年12月	冬イベントポスター B1版 261部・B3版 3,172部、冬イベントチラシ A4版 33,975部、 イベントガイド 冬号 30,000部
令和2年3月	春イベントポスター B1版 259部・B3版 3,157部、春イベントチラシ A4版 33,875部 イベントガイド 春号 70,000部

<野毛山動物園>

発行時期	内容
令和元年5月	園内マップ 20,000部
令和元年6月	園内季刊紙ふお〜し〜ず〜ん 夏号 第84号 5,000部、のげやまどうぶつえんだより 初夏号 5,000部
令和元年7月	ナイトのげやまイベントチラシ 10,000部、のげやまどうぶつえんだより 夏号 5,000部
令和元年8月	野毛山動物園秋イベントポスター B1版 217部・B3版 1,472部

令和元年9月	園内マップ 20,000部、園内季刊紙ふぉ～し～ず～ん 秋号 第85号 5,000部 のげやまどうぶつえんだより 秋号 5,000部
令和元年10月	のげやまどうぶつえんだより 冬号 5,000部
令和元年11月	野毛山動物園冬イベントポスター B1版 219部・B3版 1,470部、園内マップ 20,000部
令和元年12月	園内季刊紙ふぉ～し～ず～ん 冬号 第86号 4,000部
令和2年1月	野毛山動物園春イベントポスターB1版 69部・B3版 830部、のげやまどうぶつえんだより 冬号② 2,500部
令和2年2月	園内マップ 20,000部
令和2年3月	園内マップ（英語版） 20,000部、園内季刊紙ふぉ～し～ず～ん 春号 第87号 5,000部

<金沢動物園>

発行時期	広報印刷物名
平成31年4月	金沢動物園だより4月号 990部、5月号 990部
令和元年5月	金沢動物園だより6月号 660部、園内マップ 2,500部
令和元年6月	虫展イベントチラシ A4版 3,000部、虫展イベントポスターB3版 979部
令和元年7月	金沢動物園だより7月号 660部
令和元年8月	金沢動物園だより8月号 660部、9月号 660部、秋ポスターB1版 229部・B3版 1,894部、 ナイトイベントチラシ A4版 11,500部、シルバーウィークイベントチラシA4版 1,600部
令和元年9月	金沢動物園だより10月号 660部、どうぶつえんの文化祭イベントチラシ A4版 3,000部、 アニマルアートコラボ展チラシ A4版 1,500部
令和元年10月	金沢動物園だより10月号 660部、11月号 990部、どうぶつえんの文化祭イベントチラシA4版 700 部、アニマルアートコラボ展ポスターB1版 3部・B3版 20部、園内マップ 30,000部
令和元年11月	金沢動物園だより12月号 660部、冬ポスター B1版 226部・B3版 1,924部、初日の出イベントチラ シ A4版 2,000部、園内マップ 1,000部
令和元年12月	金沢動物園だより1月号 660部
令和2年1月	金沢動物園だより2月号 660部、バレンタインイベントチラシ A5版 11,000部・A4版 2,500部
令和2年2月	金沢動物園だより3月号 250部、春ポスター B1版 226部・B3版 1,924部、春まつりイベントチラシ A 4版 3,000部
令和2年3月	園内マップ 60,000部

エ 有料広告の出稿

イベント情報や施設情報について、より効果的な情報発信を行うため、有料広告の出稿を行いました。令和元年度は、新規の取り組みとして、近隣都県のファミリーレストランのテーブルステッカー広告により、「よこはま夜の動物園」の広域的な集客の促進を図りました。

【令和元年度 有料広告出稿実績】

園名	媒体名	内 容
三園	横浜市学校給食基準献立予定表	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
	東京新聞	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
	京浜急行、相鉄（鉄道・バス）車内・駅	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
	横浜市営バス	季節のイベント情報
	ファミリーレストラン「ガスト」テーブルステッカー（新規）	「よこはま夜の動物園」のイベント情報
よこはま	情報サイト「はまれぽ」	施設情報
	都営地下鉄・小田急等吊革	施設情報
野毛山	フリーペーパー「mirea」	飼育動物、ショップ商品の紹介等

オ ホームページ、SNS の活用

休園日、開園時間、交通アクセス、駐車場、レンタル制度、飼育動物、レストランやショップ等の基本情報のほか、動物の近況やイベント等の最新情報を発信しました（アクセス件数：よこはま 1,477,130 件、野毛山 547,106 件、金沢 424,265 件）。

ホームページ内に開設したブログにおいては、年間 1,011 件の記事を掲載し、動物の繁殖や飼育管理の工夫、各園の特徴を活かした環境教育の取組、イベント情報等を積極的にわかりやすく発信するよう取り組んだ結果、閲覧件数が前年度 123%（1,410,573 件）となりました。

このほか、SNS（Facebook、Twitter）、動画共有サイト（YouTube）を利用し、イベント情報や飼育動物についての情報をタイムリーに発信し、興味や関心を持っていただけるようにしました。特に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園となった 2 月 29 日以降については、休園中の動物たちの様子等を伝えるための積極的な情報発信に努め、応援や感謝等好意的なコメント等が多く寄せられました。

【令和元年度 ホームページでの情報発信実績】

<三園>

名称	時期	内容
横浜の動物園での取組み	平成 28 年 7 月～	三園の情報を発信するサイト

<よこはま動物園>

特設サイト

名称	時期	内容
20 周年記念特設サイト（新規）	平成 31 年 2 月 5 日～	ズーラシア開園 20 周年記念イベント等を紹介
ズーラシア夜市特設サイト（新規）	令和元年 7 月 10 日～8 月 26 日	ナイトズーラシア内のイベントを紹介

ブログ

名称	時期	内容
飼育日誌	平成 19 年 4 月～	飼育担当者による動物たちの日常を紹介
ブログ de ズーラシア	平成 19 年 5 月～	イベントの様子や園内装飾、植物等ズーラシアの様々な情報を紹介
チンパンジーの森日記	平成 21 年 3 月～	チンパンジーの日常や関連イベントを紹介
すまとらとらブログ	平成 26 年 9 月 8 日～	スマトラトラの日常や子どもたちの成長記録
アフリカのサバンナ@ズーラシア	平成 26 年 11 月 1 日～	「アフリカのサバンナ」ゾーンの動物たちの日常や生態等を紹介
ぱかぱか広場	平成 27 年 9 月 1 日～	ぱかぱか広場のウマやモルモットたちの日常や生態、飼育やイベントについて紹介

<野毛山動物園>

ブログ

名称	時期	内容
動物トピックス	平成 20 年 4 月～	野毛山に住む動物たちと、野毛山で毎日働いている飼育係や獣医師のトピックスを紹介
なかよしタイムズ	平成 20 年 12 月～	なかよし広場で飼育している動物の日々の様子を紹介
レプ担当のれぷブログ	平成 21 年 5 月～	爬虫類の日々の様子を紹介
みらいを見つめるチンパンジー	平成 23 年 7 月～	みなとみらい地区を望む野毛山の高台で生活するチンパンジーたちの日常をつづる
のげやまとらいおん ～TRY ON～	平成 29 年 6 月～	トラとライオンの日々の様子を紹介

<金沢動物園>

ブログ

名称	時期	内容
飼育こぼれ話	平成 17 年 5 月～	飼育員が担当動物について紹介(平成 22 年 1 月よりブログ化)
花情報	平成 17 年 10 月～	植物普及担当が季節の花について紹介
今週の 1 枚	平成 19 年 4 月～ 平成 25 年 11 月末	職員がとらえた直近のトピックスについて、写真と短文で紹介(平成 20 年 9 月よりブログ化)
OH!カンガルー	平成 20 年 12 月～	オオカンガルーの個体紹介やトピックス
金沢動物園美術部	平成 29 年 8 月～	アニマルアートコラボ展に絡めた園内アート作品の紹介
ちっちゃないきものたち	平成 29 年 5 月～	身近な生きもの館の生きものや野生生物について紹介

カ 間接広報

(ア) プレスリリースによるパブリシティの活用

積極的・効果的なプレスリリースを行い、テレビ・新聞をはじめとする多様な媒体に向けパブリシティを活用しました。

【令和元年度 プレスリリース件数】

園名	発表件数
よこはま動物園	45
野毛山動物園	3
金沢動物園	14
三園または二園合同	17
計	79

(イ) 当団体広報誌、行政広報紙等への掲載

当団体が年4回発行し、管理運営する公園やその他関係施設において配布を行う季刊誌「みどり」に年間を通じて動物園情報を掲載しました。また、三園とも、「広報よこはま」やタウン紙への情報発信を継続的に行いました。

(ウ) 広域広報

広域広報の取組としては、ファミリー層をターゲットとして、横浜近郊のファミリーレストラン「ガスト」において、テーブルステッカーによる「よこはま夜の動物園」広告の掲出を実施しました。また、東京圏や全国からの誘客を図るため、東京新聞に「よこはま夜の動物園」の広告を出稿しました。

また、新たな取組として、よこはま動物園・金沢動物園の広域的な集客を促進するため、大手旅行情報サイト「じゃらん」において、よこはま動物園および金沢動物園の情報掲出と、特別プランでの予約受付を開始しました。

キ その他の取組

(ア) 園外 PR・地域連携活動

近隣地域を中心に、動物園外において実施されるイベント等に多数参加することで動物園のPRを積極的に行い、来園を促進するよう取り組みました。また、近隣のコミュニティーハウスや地区センター、地域子育て支援拠点に職員が出張し、レクチャー等を行うことで、より多くの方に動物園へ足を運んでもらえるようPRを行いました。

市内各区で催される区民まつりには各動物園がそれぞれの所在区、近隣区で行われたものに参加しました。よこはま動物園では、旭区、緑区、瀬谷区での区民まつりにおいて派生物の展示や解説、チラシ配布等のPR活動を行いました。野毛山動物園では、西区民まつりにマスコット「かぐやま君」の着ぐるみと派生物の展示で参加するほか、市選挙管理委員会による動物の人気投票の実施に協力しました。金沢動物園では、所在区である「金沢まつりいきいきフェスタ（金沢区民まつり）」に参加し、派生物やはく製の展示を通して、園のPR活動を行いました。

各園の特色ある取組として、よこはま動物園では、旭区区制 50 周年連携イベントを開催したほか、藤沢市の湘南台文化センターこども館でのイベントに参加する等、広域に渡っての PR 活動に取り組みました。野毛山動物園では、伊勢佐木町商店街で行われたエコ・イセザキへの参加、西区役所・横浜市中心図書館を巡回する環境パネル展やクイズラリーへの参加、にぎわい座との連携企画等、例年実施している地域連携による PR 活動を継続し、近隣地域・施設とのさらなる関係強化を図りました。金沢動物園では、金沢工場 3 R 夢フェスタへの参加に加え、シーサイドラインフェスタにも参加し、より幅広い層・地域からの集客を目指した PR に努めました。また、地域連携として、釜利谷地区社会福祉協議会や並木北コミュニティハウスを対象とした動物園学習（動物のお話しやクラフト）を開催しました。

また、三園とも、当団体が管理運営する指定管理公園と連携して、派生物や傷病鳥獣の展示等を行い、PR 活動を実施しました。

【令和元年度 園外 PR・地域連携活動実績】

<三園>

実施日	イベント名
4月12～14日	スプリングフェア
10月6日	昭和の秋まつり（群馬県昭和村）

<よこはま動物園>

実施日	イベント名
4月29日	四季の森公園まつり
5月18・19日	Yokohama Nature Week 2019（こども自然公園）
6月1日	港北ふれあいまつり
6月23日	地域連携（湘南台文化センターこども館）
6月27日	地域連携（宮の台保育園）
7月7日	海の環境を考える親子講座（海の公園）
7月6・13日	地域連携（旭区役所）
7月20日	地域連携（神奈川県青少年センター）
7月27日	地域連携（横浜タカシマヤ）
8月7日	地域連携（緑図書館（緑区役所））
8月15・16日	子どもアドベンチャー
8月20日	地域連携（旭図書館）
10月11日	港北文庫のつどい
10月12日	俣野公園のつどい
10月20日	緑区民まつり
10月20日	旭ふれあい区民まつり
10月20日	瀬谷フェスティバル
11月3日	中山まつり
11月10日	ふれあいまつり（鶴ヶ峰地域ケアプラザ）
11月30日	瀬谷区地域子育て支援拠点 にこてらす

11月30日	もみじ祭り（俣野別邸庭園）
12月1日	こどものまち「ゆめゆめシティ」（こどもの国）
12月5日	地域連携（上白根コミュニティハウス）
12月6日	旭区役所
12月7日	地域連携（上白根大池公園子どもログハウス）
12月9日	地域連携（社会福祉法人開く会）
1月19日	地域連携（はまぎんこども宇宙科学館）
2月2日	海の環境を考える親子講座（海の公園）
2月29日	地域連携（はまぎんこども宇宙科学館）※臨時休園のため中止
3月7日	地域連携（茅ヶ崎自然生態園）※臨時休園のため中止
3月14日	地域連携（こども自然公園どろんこクラブ）※臨時休園のため中止

<野毛山動物園>

実施日	イベント名
4月28日	WINS 横浜「野毛山動物園ターフィー&キティのグリーティング」
5月26日	神奈川県立青少年センター「子ども科学探検隊」
7月20日～8月31日	近隣博物館連携事業 ミュージアムミッション2019
9月29日	横浜にぎわい座「動物ものまね講座」
10月20日	近隣博物館連携事業 ミュージアムミッション2019 特別特典バックヤードツアー
11月3日	西区民まつり
11月9日	野毛まちなかキャンパス
11月10日	エコ・イセザキ
11月16～30日	西区役所、中央図書館連携事業「え！キリンがいなくなる！？」パネル展
12月4～15日	西区役所、中央図書館連携事業「え！キリンがいなくなる！？」クイズラリー
1月11日～2月24日	丹沢・西丹沢ビジターセンター企画展「丹沢山麓イキモノ撮影記～センサーカメラを仕掛けたら～」

<金沢動物園>

実施日	イベント名
4月13日	シーサイドラインフェスタ（株式会社横浜シーサイドライン）
（3月1日）～6月9日	横浜横須賀めぐりサイクルスタンプラリー
7月13日	海の公園海開き（海の公園）
7月31日	地域連携「らくがき動物園」（並木北コミュニティハウス）
10月20日	第44回金沢まつりいきいきフェスタ（金沢区役所）
10月20日	金沢工場3R夢フェスタ2019（横浜市資源循環局金沢工場）
11月2日	地域連携「夜の動物たちのお話しと動物とのふれあい」（釜利谷地区社会福祉協議会）
1月19日	どんど焼き（海の公園）

(イ) 各種団体への誘致活動

毎年度末に横浜市内の全学校向けに、動物園利用に関する案内を配布するほか、各種福利厚生団体等との契約を締結し、来園促進を図っています。

【令和元年度 学校団体入園者数状況】

園名	区分	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高校	計
よこはま動物園	団体数	371	354	41	53	819
	人数	37,048	37,979	833	1,300	77,160
野毛山動物園	団体数	213	217	5	4	439
	人数	19,891	21,356	191	193	41,631
万騎が原 ちびっこ動物園	団体数	37	41	0	0	78
	人数	2,685	3,951	0	0	6636
金沢動物園	団体数	159	119	35	17	330
	人数	14,817	13,741	1,037	224	29,819
計	団体数	780	731	81	74	1,666
	人数	74,441	77,027	2,061	1,717	155,246

【令和元年度 契約・福利厚生団体入園実績】

名称	割引率	実施期間	よこはま	金沢
前売り券（相手方専用券：コンビニ）	1割引	6月30日まで	9,363	243
前売り券（相手方専用券：セット券）	1割引	通年	1,212	-
前売り券（相手方専用券：コンビニ等）	なし	通年	6,899	332
前売り券（ブーラシア券：ホテル等）	1割引	通年	1,163	-
前売り券（相手方専用券：ウエイズ）	2割引	通年	3,167	-
計			21,804	575

【令和元年度 よこはま動物園福利厚生団体誘致状況】

名称	割引率	実施期間	人数(名)
新聞社（読売）	特殊契約	通年	3,832
福利厚生	2割引	通年	75,838
提携企業会員カード	2割引	通年	43,920
計			123,590

(3) 管理の質・来園者サービスの向上の取組

部門をまたぐ各種会議での情報共有や、利用者の意見を収集する制度を運用し、管理の質・来園者サービスの向上に取り組みました。

① 各種会議での情報共有

よこはま動物園では、協会職員に加え、窓口案内や警備、清掃等の委託業者が出席する「業務の質向上委員会」を毎月実施し、各月の課題や対策の検討、お客様からの

ご意見の共有等を行いました。また、警備やバス運転手とのミーティングを毎朝実施し、園内警備や園内バスの運行にあたって、来園者の安全・安心の確保を徹底するよう情報共有を行いました。

野毛山動物園ではショップ・レストランの運営担当者との定例会議、公園委託業者との四半期ごとの会議を実施し、繁忙期に備えて警備・案内の委託業者と混雑時の対応の確認を実施することにより、円滑な管理運営に努めました。

金沢動物園では券売窓口・警備等の委託業者に対し、定例月次会議や個別ミーティングの場を設けて、接遇や対応力の向上を図るよう取り組みました。また、レストランの運営担当者とともに新たなメニュー開発に取り組み、サービスの向上につなげました。

② 具体的な取組

環境に配慮した取組として、動物糞の堆肥化による活用や、園内で選定した枝等の再利用、ごみの分別、グリーンカーテン、照明の更新、節電・節水に努めました。

また、来園者の利便性の向上として、金沢動物園ではベンチの修繕・更新を33箇所実施したほか、よこはま動物園では統一感を出すよう園内看板を改修しました。

③ お客様のご意見・ご要望を伺う制度

三園において、11月15日～18日のうち4日間（平日2日間、土日2日間）いずれも13時～16時に利用者アンケートを実施しました（よこはま動物園601件、野毛山動物園501件、金沢動物園372件、三園計1,474件）。利用者満足度（全体的な満足度について、「とても満足」「やや満足」と回答された割合）は、よこはま動物園が98.3%（30年度99.2%）、野毛山動物園が98.6%（30年度98.4%）、金沢動物園が96.2%（30年度97.9%）と、前年度とほぼ変わらない高い水準を維持しました。また、アンケートの中での指摘を受け、以下の通りサービスの向上のための改善を行いました。

広聴は1年間ではよこはま動物園では47件、野毛山動物園では10件、金沢動物園では14件のご意見・ご要望等が寄せられ、回答が必要なものに対してはすべて2週間以内に回答しました。

【利用者調査アンケート結果にもとづく主な改善事項】

園名	内容
よこはま動物園	・レストラン券売機の改善 ・新規飲食メニューの開発
野毛山動物園	・ひだまり休憩所子供用椅子の増設
金沢動物園	・新規飲食メニューの開発 ・新規展示動物の導入準備 ・トイレ・授乳室の衛生管理 ・展示動物の見やすさ向上

【令和元年度 広聴件数（ホームページ等による要望等）】

園名	件数	内 訳				
		クレーム	ご意見・ ご要望	質問・ 問合せ	お礼・ 励まし	その他
よこはま動物園	47	2	42	0	3	0
野毛山動物園	10	1	8	0	1	0
金沢動物園	14	1	10	0	3	0
計	71	4	60	0	7	0

(4) 教育普及

三園が連携し、スケールメリットを活かした事業を行うとともに、よこはまは「世界」、野毛山は「身近」、金沢は「自然」といった各園の特徴を活かした教育プログラムを企画、実施しました。

① 環境教育プログラム

事前予約をした学校等の団体向けの環境プログラム（30種類）を行い、改善を5件行いました。（改善項目についてはP. 7を参照）

【令和元年度 環境教育プログラム】

<三園または二園>

プログラム名	概要	参加人数
動物園の獣医	獣医の一日を紹介	1,516（よこ） 695（野） 1,440（金）
動物たちにズームイン	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	475（よこ） 200（金）
職業体験	掃除や餌の準備、イベントでの接客等の体験	159（よこ） 60（野） 125（金）
職場見学	環境問題に取り組む動物園の役割を紹介	49（よこ） 10（金）
職業インタビュー	動物園のスタッフに動物園の仕事についてのインタビュー	0（よこ） 35（野） 12（金）
動物園学習	要望に合わせ、学習プログラムを用意	165（よこ） 74（野） 948（金）
動物の赤ちゃん （出張プログラム）	動物たちの子育てやその違いについて解説	850（よこ） 853（野） 257（金）

飼育員の1日 (出張プログラム)	飼育員の1日の仕事を紹介	979 (よこ) 1,480 (野) 846 (金)
動物たちにズームイン (出張プログラム)	動物のクイズや毛皮や骨等に実際に触れながら解説	435 (よこ) 416 (野) 329 (金)
職業講話 (出張プログラム)	動物園スタッフが学校に出向いて、飼育員が行う仕事について解説	589 (よこ) 565 (野) 225 (金)

<よこはま動物園>

プログラム名	概要	参加人数
動物の赤ちゃん	草食動物と肉食動物の違いを説明	222
飼育員の1日	飼育員の1日の仕事を紹介	99
なりきり獣医さん	獣医の仕事についてのお話と、獣医の仕事道具の聴診器等を用いた体験型プログラム	119
動物園の概要	動物園の役割やよこはま動物園の特徴等について解説	107
しっぽの使い方	動物のしっぽの使い方の紹介	455
オスとメスの違い	オスとメスの体の違いの説明	74
色々な赤ちゃん	おとなと比較し、赤ちゃんだけの特徴のお話	370
獣医師のお仕事	写真を見ながら動物のケガや病気を説明 (ミニレクチャーに追加)	398
バックヤードツアー	ゾウの寝室と飼料庫 (エサ置き場) に案内し、解説	2,593

<野毛山動物園>

プログラム名	概要	参加人数
飼育員の一日	飼育員の1日の仕事を紹介	402
かんさつ名人になろう! (出張プログラム)	専用のワークシートに書きこみながら、モルモットやハツカネズミ等とのふれあい方法と観察方法を実践と対話形式で学ぶ。 ※今年度より動物福祉の観点により出張範囲を縮小した。	954

<金沢動物園>

プログラム名	概要	参加人数
どうぶつの赤ちゃん	動物たちの子育てやその違いについて解説	382
飼育員の一日	飼育員の1日の仕事を紹介	120
ゾウ舎バックヤードツアー	ゾウの寝室と飼料庫 (エサ置き場) に案内し、解説	264
動物のたんじょう	動物の誕生の仕組みを動物園での繁殖事例をもとに説明	141
動物のほねときん肉	実物の動物たちに触れながら、動物の骨と筋肉について解説	2,367
ツノにさわろう	実物の角に触れ、感触や重さを体験	2,800
コケコケぶーぶー	ブタやニワトリとふれあい、身近な家畜を学ぶ	2,384
キリンのおやつガイド	木の葉を食べるキリンの観察と飼育員の解説	705
クラス丸ごと動物園体験 (連携授業)	クラス単位で金業務を分担して体験し、動物園の運営を学ぶ	194

動物ガイドになろう（連携授業）	動物園や野生動物について学び、「動物ガイド」として、園内で動物解説を実施	1,087
動物図鑑を作ろう（連携授業）	毎回課題の動物の解説を飼育員から聞き、写真資料等をそろえてオリジナル動物図鑑を作成する	248
タケノコ掘り・梅の実刈り体験（連携授業）	モウソウチクのタケノコ掘り体験や、ウメの実採集体験から、生物のつながりを学ぶ	72
どうぶつ園のおしごとブック（連携授業）	動物園の獣医の仕事や飼育員の仕事内容を学び、動物園の飼育員のおしごとブックを作成する	207
どうぶつの赤ちゃん（連携授業）	ワークシートを活用しながらキリンとカンガルーを観察し、子育てや子どもの成長のしかたの違いを学ぶ	130
動物ガイド（連携授業）	個別支援学級の生徒が自ら作成した動物ガイドを、他の生徒に披露する	24

② 小動物ふれあいプログラム

野毛山動物園では、事前予約をした学校等の団体向けに、モルモット、ハツカネズミ、ニワトリとのふれあいプログラムを実施しました。

③ 院内学級

金沢動物園では、重度肢体不自由・重複障害児を対象に、特別支援学校分教室（医療福祉センター内）に職員が出張し、派生物の観察や動物とのふれあいを体験してもらう出前授業を実施しました。

④ その他の教育プログラム

一般来園者を対象として、以下の教育プログラムを実施しました。

<三園>

プログラム名	概要	実施日
動物ガイド	飼育員による動物の生態・行動に関するガイドを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・とっておきタイム（ズーラシア） ・お食事タイム（野毛山動物園） ・わくわくタイム（金沢動物園） 等	通年

<よこはま>

プログラム名	概要	実施日
ガイドツアー	動物のエサを準備する台所等を見学するガイドツアー、園内を見学しながら動物の解説を聞く園内案内（ウォーキングツアー）を実施	通年
ズーラシアどうぶつ教室	動物たちの裏話や動物に関連するクイズや工作等、楽しく参加していただけるワークショップや講義（ズーラシア教室）を実施	通年
アフリカのサバンナでの体験活動	動物のふれあいを中心とした体験活動を実施（バードショー、ピグミーゴートとのふれあい）を実施	通年

<野毛山>

プログラム名	概要	実施日
ガイドツアー	動物のエサを準備する飼料庫を見学するガイドツアー、動物病院を見学しながら解説を聞くガイドツアーを実施	通年

<金沢>

プログラム名	概要	実施日
ののほな教室	園内の自然をテーマにした季節の植物案内やクラフトの製作等を行う教室を実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回中止	通年 (年17回)
企画展	ののほな館内にて金沢の自然や季節テーマにパネル等を展示	通年 (年8回)
お話し会	ののほな館図書コーナーにて幼児向けの紙芝居、読み聞かせを実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止	通年 (年11回)

(5) 自主事業等の取組

三園の個性を発揮し、三園それぞれに行ってみたいと感じていただけるような企画を展開しました。

① 教育活動

よこはま動物園は『動物達が暮らす生息環境の中で世界の「自然」と「文化」を体感!』、野毛山動物園は『都会の中の憩いの空間で「動物」と「自然」を身近に体感!』、金沢動物園は『豊かな自然に囲まれて「森」と「動物」と「エコ」を体感!』を念頭に置き、事業を実施しました。また、よこはま動物園では、開園20周年を記念した企画展を実施しました。

【令和元年度 教育活動 各園の主な取組】

<三園>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
一日飼育体験	動物舎の清掃やエサ作り等、飼育作業の体験プログラム	6月1・2日、7月24～27日(よこ) 7月24～26日、1月18・26日(野) 7月21・24・25日(金)	153(よこ) 78(野) 64(金)
子育て支援拠点へのお出張講座	動物の子育て等に関する出張講座	通年	-

<よこはま>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
開園20周年記念特別企画展	開園20周年をテーマとした企画展	3月20日～9月2日	-
オランウータンのくらしをウォッチ	野生のオランウータンの生態について学べるパネル展	3月21日～6月30日	-

アフリカの動物 パネル展	アフリカ開発会議の関連企画として、アフリカの動物を紹介したパネル展	6月1日～8月31日	-
動物のヒミツ発見	動物の体の一部に注目して観察し、学ぶワークショップ	7月28・29日	37
ズーラシア アドベンチャー	小学1～3年生を対象に、クイズやゲームを取り入れながら動物について楽しく学べる企画	7月31日・8月1日	36
REALBONES 展	魚から哺乳類まで様々な動物の骨のパネルと実物の展示	9月4日～12月2日	-
ズーラシアスクール	動物や人、それらを取り巻く環境について考える総合力を養うことを目的とした連続講座(小学4～6年生対象)	9月～3月	168
干支展	干支の動物や干支に関連する動物園の動物をパネルで紹介	12月4日～3月2日	-
イヌフェス企画展	ズーラシアで飼育しているイヌ科の動物について紹介したパネル展	1月2日～2月3日	-
イヌフェス講演会	イヌ科の動物についての講演会	1月11日	130
きこりになろう	茅ヶ崎自然生態園、こども自然公園と連携し、里山保全の講義の後、間伐作業体験と間伐した枝を動物へ給与する給餌体験	3月7・14日	臨時休園のため中止
大うんち展	動物の糞をテーマにした、動物の食性や消化の仕組み等を学ぶ企画展	3月4日～6月1日	臨時休園のため中止

<野毛山>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
野毛山動物園セミナー 2020	「子年にネズミを学ぼう！～ネズミ研究の第一人者が語る！ネズミのお話～」をテーマにした講演会	2月22日	臨時休園のため中止
動物たちのSOS展	絶滅の危機に瀕する野生動物の写真を展示するほか、保護活動の事例等を紹介	3月1日～31日	臨時休園のため中止

<金沢>

プログラム名	概要	実施日	参加人数
Zoo レンジャーカード ラリー	環境月間にあわせ、絶滅の危機に瀕している動物たちのガイドを聞いて学習する企画	6月の土日	543
へイケボタル発光展示	へイケボタルの発光の様子を、身近ないきもの館にて展示	6月22日～ 7月10日	3,939
むし・虫・カブトムシ！ 展	身近な昆虫や世界のカブトムシ、クワガタムシ等の生体を展示	7月13日～ 8月25日	29,368

ZOO to WILD セミナー	「カピバラの知られざる世界」をテーマに、カピバラの専門家・飼育員による講演と、飼育下個体の観察会	1月12日	60
------------------	--	-------	----

② ふれあい体験

よこはま動物園では、自主事業として、以下のふれあい体験を実施しました。

場所	プログラム名	概要	実施日
ばかばか 広場	ひき馬体験	ばかばか広場でのひき馬体験	通年
	自然体験林でひき馬体験	園内の自然体験林の中での乗馬体験	通年
	馬の飼育係になってみよう	馬の餌の準備等飼育係の体験	通年
	馬にごはんをあげよう	馬の給餌体験	通年
	小動物ふれあい	モルモット、パンダマウスのふれあい体験	通年
アフリカの サバンナ	ラクダライド	ラクダに乗る体験	通年
	ピグミーゴートとのふれあい	ピグミーゴートとのふれあい体験	通年
	ライオンへの給餌体験	トングを使ったライオンへの給餌体験	適宜

③ イベント

よこはま動物園では、開園20周年を記念し、記念の年間パスポートの販売を開始しました。イベントでは、動物の人気投票、20組限定の特別なツアーへの参加募集等を実施したほか、入園口等に20周年記念の装飾を行いました。また、謎解きイベントや「ズーラシア ネコフェス！」を新たに実施したほか、春の「ズーラシアガーデンパーティー」では、子ども向けのイベントの強化として、どうぶつの絵本をテーマに「ぐるんぱのようちえん」等を取り上げました。

野毛山動物園では、毎年恒例の「ナイトのげやま 夕涼みガーデンライブ」、「動物感謝祭」、「インドライオンの『ラジャー』誕生日会」を実施したほか、職員がお客様の前で動物のエサづくりを実演する「飼育員のエサづくりライブ」が好評であったことから、今年度も引き続き実施しました。

金沢動物園では、年間を通して地域連携や環境保全をテーマとしたイベントを実施するとともに、「金沢動物園×ももクロ・佐々木彩夏コラボ」企画を開催しました。佐々木彩夏さんのアナウンスと飼育員によるインドゾウガイド等を実施しました。また、「フェアトレード de チョコまつり」において、イオン(株)と連携し、フェアトレード商品の販売やパネル展示、動物ガイド等を通じて、環境保全に係る啓発活動に取り組みました。

各園でのイベント実施実績は以下のとおりです。

【令和元年度 イベント実施実績】

<三園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
七夕まつり	園内に七夕の装飾を設置するとともに関連イベントを実施	6月26日～ 7月7日	10,706 (よこ) 7,023 (野) 2,115 (金)

クールビズZOOキャンペーン	ドライミストや夜間開園等、真夏の動物園を涼しく過ごせるイベントを実施	7月1日～ 9月30日	251,438（よこ） 116,787（野） 52,431（金）
よこはま夜の動物園	夜の動物たちの行動を来園者に知ってもらうため、園内をライトアップして夜間開園し、園内草食やライブ等も併せて実施	8月土日祝	71,174（よこ） 16,665（野） 14,029（金）
ドリームナイト・アット・ザ・ズー	社会貢献活動として、障がいのある子どもとその家族を夜の動物園へ招待するイベントを実施	9月7日	4,103（よこ） 166（野） 319（金）
ハロウィンイベント	季節のイベントとしてハロウィンの雰囲気を楽しめるよう、ハロウィンをテーマにした園内装飾を実施	10月1～ 31日	87,978（よこ） 50,227（野） 22,635（金）
クリスマスイベント	各園でイルミネーションの設置およびクリスマス装飾を実施	11月13日～ 12月25日	81,401（よこ） 53,696（野） 21,647（金）
お正月イベント	お正月飾り等で園内を装飾。動物へのお年玉として特別なエサやり、動物ガイドや各種催物を実施	11月中旬～ 1月5日	115,266（よこ） 74,892（野） 29,832（金）

<よこはま動物園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
ズーラシアガーデンパーティー	「どうぶつ絵本の世界」をテーマにした装飾と飲食ブースによるガーデンパーティー	3月24日～ 4月4日	60,725
ズーラシア夜市	ズーラシア開園20周年をテーマにイルミネーションや装飾、飲食ブースを設置	8月土日	71,174
ズーラシアフェス！	ズーラシアでのみ飼育している動物のガイドやパネル展示、動物のグッズ出店	9月21～23日	16,599
ふれあい動物園	期間限定で、動物園では飼育されていない動物の展示や触れ合いコーナー等の設置	10月19日～ 11月24日の土日祝	107,813
わくわく裏側ウォッチング	動物の寝室や調理室の見学や動物を間近に観察できるバックヤードツアー	12月～ 2月の日曜	442
ズーラシアガーデンパーティー	お花見をテーマにした装飾と飲食ブースによるガーデンパーティー	3月27日～ 4月5日	臨時休園のため中止

<野毛山動物園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
ナイトのげやま 夕涼み ガーデンライブ	夜間開園時にひだまり広場での音楽演奏	8月土曜	9,972
動物感謝祭	三園の動物たちの誕生・長寿・死亡に関するパネル展と献花式	9月23日	2,761

飼育員のエサづくりライブ	飼育員がエサを作る様子を実演しながら解説	11月3・10・17日	16,591
インドライオン「ラージャー」誕生日会	特別なエサのプレゼント、特別ガイド等	2月11日	200

<金沢動物園>

イベント名	概要	実施日	参加人数
シルバーウィークスペシャル	地域で活躍する太極拳やコーラス等高齢者団体のステージ、資源循環局のワークショップ	9月14～16日	5,157
どうぶつえんの文化祭	環境活動のPRや体験を地域団体やNGO、学校等と連携したステージ企画等	10月14日	509
アニマルアートコラボ展 Vol.10	美術・芸術系学校と連携した作品展示、ワークショップ等	10月5日～11月10日	45,874
アニマルアートコラボ展 彫刻のライブ制作	アーティストによる彫刻のライブ制作	9月7日～10月14日	25,018
ももいろクローバーZ 佐々木彩夏コラボ企画	佐々木彩夏さんの映像・パネル展示やアナウンスによるインドゾウの特別ガイド	12月12日～1月13日	20,845
特別開園「ZOOから初日の出！」	元日早朝に開園し、初日の出の鑑賞場所を提供	1月1日	628
どうぶつえんでお正月	コマ回しや凧揚げなど	1月2・3日	4,032
かなざわバレンタイン「フェアトレード de チョコまつり」	フェアトレード商品の販売やパネル展示、野生動物の生息環境についてのガイド	2月8・9日	3,412
金沢動物園 春まつり	地域や団体等と連携したイベントを実施	3月20～22日	臨時休園のため中止

④ その他の取組

ア メンバーシップの拡充

(ア) アニマルペアレント

より多くの方にお申込みいただける魅力ある制度となるよう、会員の方向けに、動物に関する情報や支援金を使った取組をお知らせする「アニマルペアレントニュース」を年4回発行・送付するほか、「アニマルペアレント感謝の日」として、会員限定のイベントを各園で行いました。アニマルペアレント制度による収入については、お申し込みいただいた皆様の思いをより活かすことができるよう、動物の飼育環境の改善に活用しました。

【令和元年度 アニマルペアレント収入 主な活用事例】

園名	内容
よこはま動物園	<ul style="list-style-type: none"> ・チンパンジー屋内展示場擬木修繕 ・ハチクイ展示場擬岩修繕 ・ハタオリ展示場改善 ・アムールヒョウ展示場デッキ修繕

野毛山動物園	・ニホンツキノワグマ展示場の組み木修繕 ・なかよし広場説明台修繕
金沢動物園	・インドゾウ展示場整備用の山砂 ・インドサイ舎展示場生チップ搬入 ・クロサイ体重計測箱修繕

【令和元年度 アニマルペアレント収入実績】

園名	口数	金額	備考
よこはま動物園	605	3,025,650 円	端数入金あり
野毛山動物園	467	2,335,000 円	
金沢動物園	354	1,770,000 円	
計	1,426	7,130,650 円	

(イ) 横浜市動物園友の会

各園で行う例会や施設見学会等の会員を対象としたイベントや機関誌「Zoo よこはま」の発行を通じて、市民と動物園とをつなぐ役割を果たしました。

【令和元年度 横浜市動物園友の会 会員数】

会員種別	会員数 (家族会員は組数)
家族会員	170
大人会員	194
小人会員	4
賛助会員	4
計	372

イ 野毛山動物園募金

入園料収入のない野毛山動物園においては、園内施設の改修等、来園者の利便性向上に資する取組に活用するため、園内に募金箱を設置して来園者からの寄附を募りました。

(6) 自己評価

事業の進行管理と職員の目標管理を行うことで、業務改善や業務目標の達成に向けて取り組みました。さらに、利用者の評価を広く収集し、PDCA マネジメントサイクルに組み込むことで、業務改善を行い、サービスの向上につなげました。

① 組織目標シートによる事業進行管理

各事業を効率的に達成するため、管理運営実施計画書の事業を分類し、スケジュールを決定しました。この組織目標シートに基づき、半期ごとに事業全体を振り返るとともに、毎月1回入園者数や各種収入等の実績を確認し、事業の進捗を管理しました。

② 職員の目標管理

職員ひとりひとりが、年度当初に年間目標を設定し、進捗管理を行うことにより、業務目標の達成につなげるとともに、必要な業務改善を行いました。

③ 利用者ニーズの把握、意見の収集

利用者調査アンケート、広聴（P. 19）により、広く利用者のニーズを把握するよう努めるとともに、寄せられた意見を業務改善とサービスの向上に反映しました。また、イベントについては、その参加者を対象に、以下の通りアンケートを実施し、次回以降のイベント内容の改善に役立てました。

【令和元年度 イベント参加者アンケート実施実績】

	イベント名	実施日	人数
よこはま	ナイトズーラシア	8月11日、18日	412
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月7日	201
野毛山	ナイトのげやま	8月10日、11日	450
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月7日	39
金沢	ナイト金沢 ZOO アンケート	8月10日、11日	300
	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	9月7日	34
	一日飼育体験	11月9、16、23日	69
	ZOO to WILD セミナー	1月12日	60

3 動物の飼育管理

(1) 動物の飼育計画

動物飼育計画の立案にあたっては、動物の生態を踏まえ、当団体に蓄積された記録を参照した上で、最新の知見が盛り込まれた海外の飼育計画に準拠して、イギリスの動物園からよこはま動物園にヤブイヌを導入する等、より効果的な計画を立案しました。また、重点保全種に指定されている種については、収集計画を含む繁殖計画を立案し、計画的な保全に努めました。

(2) 動物舎および展示場の管理

動物舎および展示場の管理は、施設の長寿命化計画に準拠し、共通のフォーマットを用いて統一基準で管理しました。また、より適切な飼育環境を実現するため、以下の通り展示場の改善を行いました。

【令和元年度 主な展示場改善】

園名	概要
よこはま	アムールヒョウ展示場改修
	シシオザル展示場改修
	ニホンザル展示場改修
	ハタオリ・ハチクイ展示場改修
	ウンピョウ展示止まり木交換

野毛山	ミナミコアリクイ舎エアコン修繕・展示場止まり木更新
	レッサーパンダ舎・シカ舎屋上落ち葉清掃用タラップ設置
	なかよし広場小動物展示箱更新、ガイド台更新
	類人猿舎裏階段並びにキリン舎脇階段に外灯設置
金沢	マーラ飼育舎改修
	キリン舎改修
	ゾウ舎改修

(3) 動物の繁殖計画

① 動物の生態を踏まえた繁殖計画

重点保全種の繁殖については以下のとおり取り組みました。繁殖に取り組む準備を進める種については、国内外からの情報収集等に取り組み、特にタイ王国動物園機構（ZPO）とはMOUを締結する等、海外との連携強化に努めました。また、よこはま動物園において、腹腔鏡システムを導入し、人工授精への取組を推進しました。

【令和元年度 主な繁殖動物】

よこはま動物園		野毛山動物園		金沢動物園	
種名	点数	種名	点数	種名	点数
アカカンガルー	2	オグロワラビー	1	コアラ	2
ニホンザル	3	アカエリマキキツネザル	5	オオカンガルー	1
フランソワルトン	1	フサオマキザル	1	オオツノヒツジ	2
アカアシドゥ克蘭ゲール	1	クロツラヘラサギ	1	スーショワンバーラル	1
スマトラトラ	1	ニホンキジ	5	アラビアオリックス	1
キリン	1	インドクジャク	2	アカネズミ	7
ゴールデンターキン	1	ハウシャガメ	6	ジムグリ	3
エランド	2	ヘサキリクガメ	1		
フンボルトペンギン	3				
コウノトリ	1				
ベニジュケイ	1				
オウギバト	1				
ズグロウロコハタオリ	1				
キタベニハチクイ	7				
14種 26点		8種 22点		7種 17点	

② 国内外において当団体が担う、保護・繁殖の役割

当協会が多くの実績や技術を有する種について、率先して国内外の動物園との連携を図りました。また、(公社)日本動物園水族館協会の役割を担うことで、保護・繁殖に携わりました。

【令和元年度 (公社) 日本動物園水族館協会内役割】

役割	動物種
類別調整者	両生類爬虫類 (副類別調整者)、食肉類 (副類別調整者)
種別計画管理者	マレーバク、ウンピョウ、インドサイ、シロテテナガザル、ユーラシアカワウソ、ブラジルバク
個体群管理者	ヤブイヌ、オオカンガルー、アラビアオリックス、ミゾゴイ、ベアードバク、ハミルトンガメ、インドセタカガメ
専門技術員	ツシマヤマネコ、アジアゾウ、コアラ、クロサイ、グレビーシマウマ、ニホンカモシカ、スマトラトラ、フランソワルトン、ハウシャガメ
生息域外保全検討作業部会	ミヤコカナヘビ
繁殖表彰審査委員	爬虫類

(4) 動物の獣医学的衛生管理

飼育員と獣医師が密に連携し、疾病の予防に取り組むことを基本とし、日々の細かな観察および専門的な知識と蓄積された経験に基づき、早期発見早期治療による健康管理を行いました。

健康診断や体重測定、その他採食、行動、被毛の状態等を常に細かく観察し、飼育担当者と獣医師が連携して、健康管理を行いました。感染源を持ち込まない衛生管理を徹底し、確実な検疫等を実施して、希少な野生動物を健康に飼育しました。

高病原性鳥インフルエンザ防疫対応策としては、横浜市の通知に基づき、防疫対応策のレベルに合わせた鳥類の非展示等を行ったほか、鳥インフルエンザマニュアルを一部改正し、国内での発生状況に迅速に対応できる体制を整えました。CFS (豚熱) についても、横浜市ほかの関係機関と連携し、国内での情報収集に努めたほか、園内の消毒マット設置や教育普及プログラムの見直し等を行いました。

このほか、三園すべての獣医師が、インターネットを通じて最先端の獣医学的知見を共有することのできるサービスであるVMN (Veterinary Medical Network) を利用することのできる環境を整え、継続的に医療技術の向上を図っています。

(5) 野生動物の保護

① 傷病鳥獣保護

ケガや病気により救護された野生鳥獣(鳥類・哺乳類)を治療し、野生に戻す取り組みを行うとともに、園内ガイド等で野生動物の現状を紹介しました。

【令和元年度 傷病鳥獣保護点数】

園名	点数
よこはま動物園	262 点
野毛山動物園	221 点
金沢動物園	424 点
計	907 点

② 国内外における保全活動

国内での取組としては、環境省によるツシマヤマネコの保護増殖事業に協力し、繁殖生理、栄養に関するデータ収集を行ないました。また、ミゾゴイ、ミヤコタナゴ、ミナミメダカ（横浜在来個体群）等の保全のため、関係機関と連携して、繁殖・普及活動を行いました。9月には野毛山動物園職員がミヤコタナゴ生息地での保全活動に参加する予定でした（台風19号の影響で中止）。金沢動物園では、職員がライチョウ会議に出席する等、ニホンライチョウに関して国内の関係園館および関係機関と研究成果や保全計画に関する情報共有を行いました。

国際的な取組として、よこはま動物園および金沢動物園において「世界オカピの日」にちなんだ企画を実施する等、オカピに関する教育普及活動に取り組みました。テングザルについては、インドネシアの関係者との間で保護協定の更新に向けた協議を進めたほか、支援金の募金活動を行いました。また、台北市立動物園とは、覚書に基づき、マレーバク・カワウソ等の動物交換について情報交換を進めました。このほか、タイ王国動物園機構（ZPO）との間に新たに覚書を取り交わし、アカアシドゥクラングールの動物交換について情報交換を進めました。

③ 市民への普及活動

野生動物保護についての市民に向けた普及活動として、各園にて講演会等を実施しました。

よこはま動物園では、開園20周年を記念し、これまでの歩みを振り返るシンポジウム「ズーラシア楽会」を10月に予定していましたが、台風および新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年度内の実施を見合わせ、翌年度に実施することとしました。

野毛山動物園では、2月に「子年にネズミを学ぼう」をテーマにした講演会を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止となりました。金沢動物園では1月に「カピバラの知られざる世界」をテーマにした講演会を実施しました。

(2) 調査・研究

調査・研究により得られた成果を積極的に発表し、また市民に情報発信しました。

① 日々の業務の中で積み重ねる調査研究業務

月に1回「各園飼育研究会」を実施して、職員の研究成果の発表を義務化し、その情報共有を行ったほか、研究会、学会等への発表を実施しました。なお、例年実施している「三園合同飼育研究会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は中止となりました。

【令和元年度 各園飼育研究会実績】

園名	テーマ	件数
よこはま	繁殖を目的としたインドゾウの輸送及び搬入後の経過	25件 ほか
	コウノトリの繁殖経過	
	スマトラトラにおける3回の繁殖行動の比較	
	エミューの繁殖と雛の成長記録の経過報告	

野毛山	飼育下におけるミナミコアリクイに適した食・住を考える	12 件
	当園のオグロラビー過去5年間の治療振り返り	
	ホウシャガメの産卵数の推移	
	獣舎の改修工事に伴うダチョウの園内移動 ほか	
金沢	オオカンガルーにおける脛骨成長板早期閉鎖症に対する矯正の骨切り術の一例	14 件
	オオツノヒツジにおける難産事例の振り返り	
	動物園を利用した総合的な学習の時間の実践	
	アラビアオリックスの繁殖歴と出産報告 ほか	
計		51 件

② 横浜市繁殖センター、大学等との共同研究

繁殖センターや大学、外部研究機関等とともに積極的に共同研究活動を行いました。

【令和元年度 大学、企業等 共同研究件数】

園名	共同相手先	テーマ	件数
よこはま	日本獣医生命科学大学	ホッキョクグマ (Ursus Maritimus) の域外飼養技術の開発に関する研究、飼育飼料の検討	28 件
	岐阜大学	キリンの糞中の性ステロイドホルモンの測定	
	近畿大学	学習者の能動的な生命概念構築を支援する持続可能性に向けた動物園（植物園を含む）教育の デザインと評価	
	山口大学	傷病鳥獣の重症熱性血小板減少症候群の抗体検査について ほか	
野毛山	近畿大学	学習者の能動的な生命概念構築を支援する持続可能性に向けた動物園教育のデザインと評価	8 件
	麻布大学	猛禽類の胃腸内寄生虫に関する調査について	
	上智大学	チンパンジーにおける関係性の違いが毛づくろいに与える影響	
	東京農工大学	傷病野生動物の二次治療に関する連携研究について	
	日本歯科大学	各種哺乳類の舌粘膜における舌乳頭の結合織芯の立体構造に関する形態学的研究	
	日本大学	鳥類における抗マラリア薬の血中動態に関する研究	
	県立生命の星・地球博物館	標本作成のための死体の提供	
	岐阜大学	「飼育下キリンにおける栄養管理方法の確立にむけた共同研究について」	
金沢	京都大学	飼育下コアラにおける尿中コルチゾール濃度およびテストステロン濃度動態と雄の行動変化について	18 件
	日本大学	インドゾウにおける展示場への砂導入の効果について	
	東京農業大学	インドサイ舎におけるサシバエの発生消長について	
	鶴見大学	金沢動物園におけるヤマアカガエルの産卵数の確認調査 ほか	
計			54 件

【令和元年度 繁殖センター等 共同研究件数】

園名	共同相手先	テーマ	件数
よこはま動物園	繁殖センター 岐阜大学	ホッキョクグマの繁殖生理に関する研究	13 件
		ウンピョウ雌個体の発情期及び妊娠の同定	
		ゴールデンターキンの繁殖生理に関する研究	
		チーターの繁殖生理に関する研究	
野毛山動物園	繁殖センター	キリンの性ステロイドホルモンの測定 飼育下ヘサキリクガメの血縁関係調査	2 件
金沢動物園	繁殖センター 岐阜大学	糞中の性ステロイドホルモン含量を指標としたインドサイの性周期のモニタリング	1 件
計			16 件

③ 研究成果の情報発信および動物園活動への応用

(公社)日本動物園水族館協会主催の会議、国内外の学会や研究会で研究成果を積極的に発表しました。研究成果で主だったものは、ホームページや会報誌等に掲載し、市民の皆様に情報発信を行いました。また、調査研究により得られた成果は、飼育、繁殖、予防医学等に役立てました。

【令和元年度 研究会実施・参加実績】

研究会・会議名	実施日
各園飼育研究会	各園各月 1 回
三園合同飼育研究会 (一般公開・金沢動物園)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
日本動物園水族館協会 関東東北北海道ブロック動物園技術者研究会	6 月 12 日、9 月 12 日、1 月 30 日

【令和元年度 投稿記事・論文発表回数】

園名	発表先	テーマ	件数
金沢動物園	動物園水族館雑誌 61(2):32-37 (2019)	初期の人工哺乳から自然哺乳への切り替えに成功したオオツノヒツジの一例	2 件
	観音崎自然博物館研究報告たたらはま No.23:16-19 (2019)	神奈川県横浜市立金沢自然公園でヤマタニシの生息を確認	
計			2 件

【令和元年度 各種研究会における口頭発表回数】

園名	発表先	テーマ	件数
よこはま動物園	第 67 回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会	チーターランイベントは動物園の社会的使命を果たしているのか—利用者アンケート調査に基づく評価—	6 件
	第 15 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	ラクダライドにおける問題行動とその修正の一例	
	環境創造局業務研究・改善事例発表会	無保定採血によるレッサーパンダの健康管理 ほか	
野毛山動物園	第 15 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	飼育下におけるミナミコアリクイに適した食・住を考える	6 件
	環境創造局業務研究・改善事例発表会	当園のオグロワラビー過去 5 年間の治療振り返り	
	第 16 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	モルモットの飼育箱について	
	第 31 回日本動物園水族館両生類爬虫類会議	野毛山動物園で飼育するハウシャガメ (<i>Astrochelys radiata</i>) の産卵数の調査	
	第 67 回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会	ハウシャガメ (<i>Astrochelys radiata</i>) の産卵数の推移	
	第 17 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	獣舎の改修工事に伴うダチョウの園内移動	
金沢動物園	第 15 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	インドゾウに対するエンリッチメントの取り組み	8 件
	The 12th meeting of Asian Society of Conservation Medicine	Heart rate monitoring using a wearable device in Asian elephants (<i>Elephas maximus</i>) during veterinary care	
	環境創造局業務研究・改善事例発表会	TSA/TFTSG シンポジウム参加および TC 保護施設視察への招聘について	
	第 17 回日本動物園水族館協会関東東北・北海道合同ブロック動物園技術者研究会	海洋性鳥類及びカモ類など水辺に生息する鳥類の傷病保護の状況等に関する調査 ほか	
計			20 件

【令和元年度 講師、ポスター発表等回数】

園名	発表先	テーマ	件数
よこはま動物園	第25回日本野生動物医学会大会	4頭のチーター (Acinonyx jubatus) におけるA型インフルエンザウイルス感染事例 (ポスター発表)	5件
	第60回日本動物園水族館協会教育研究会	ミュージアム・エデュケーション研修参加中間報告 (ポスター発表) ほか	
野毛山動物園	麻布大学	動物園での動物の飼育 (講師)	2件
	東京農業大学	(公財)横浜市緑の協会の事業概要について (講師)	
金沢動物園	日本獣医生命科学大学 特別講義	動物園の役割とその活動 (講師)	8件
	第14回国際エンリッチメント会議	Environmental enrichment for Asian Elephants (Elephas maximus) at Yokohama Municipal Kanazawa Zoo (ポスター発表) ほか	
計			15件

④ (公社) 日本動物園水族館協会における役割

(公社) 日本動物園水族館協会の教育普及委員会において、金沢動物園から理事1名および学術研究部員1名、よこはま動物園から普及啓発部員1名が選任され、研究・検討に携わりました。

4 施設等の維持管理計画

(1) 施設管理の基本事項

劣化状況を確認するとともに施設全体の状況を考慮し、最適な修繕方法を選択しました。過去の修繕状況を把握し、計画的に維持管理を行うことで施設・設備の長寿命化を図りました。また、設備更新では省エネ・省資源設備への更新を進めました。

体制の整備や情報共有の仕組みの強化、作業計画やマニュアル類の整備等を推進し、全ての園内施設について仕様を十分に理解した維持管理業務を実施しました。

① 三園が連携した維持管理体制を確立

「安全・安心の確保」を維持管理の最優先課題とし、組織的に取り組む体制を確立しました。

② 維持管理計画 (修繕計画含む) に基づく計画的な業務

各園の維持管理実施計画に基づき計画的に業務を遂行しました。

③ 高水準な維持管理を確保するマニュアルの整備

公園施設点検マニュアル等、各種マニュアルを定期的に改訂作成し、確実に業務を履行する事で高水準な維持管理を確保しました。

④ コスト削減を可能にする維持管理

安全やサービス水準の確保を前提に、大規模修繕につながらないようにこまめな修繕を重ねることでコスト削減に取り組みました。

【令和元年度 修繕作業・工事実施実績】

園名	件数
よこはま動物園	117件
野毛山動物園	48件
金沢動物園	60件
計	225件

(2) 施設および設備の維持管理

動物舎等の施設および設備、管理棟、管理詰所等の施設および設備、レストラン、売店棟の施設および設備、その他設備の維持管理（衛生的で快適な施設利用の実現）を行いました。また、各園の施設年間作業計画を作成、実施しました。

(3) 園地および遊具等の維持管理

「安心」「快適」で、「憩いと安らぎを提供する場」として植物等を活かした魅力づくりを行い、また、緑や生物の多様性を守り、市民が自然に親しみ知識を深められるよう高水準な維持管理を行い、各園の魅力を高めました。

① マニュアル等による高水準な維持管理の確保

マニュアルや植物カルテにより高水準な維持管理を確保しました。また、「横浜市グリーン事業協同組合」との連携による効率的・効果的な維持管理を行いました。特に、台風等の気象災害により大きな被害が発生した際には、必要に応じて臨時休園を行い、緊急に対応することで、秋の遠足等の来園者への影響を最小限に抑えることが出来ました。

② 園地の維持管理（快適な園地環境の提供）

清掃業務を適切に実施しました。また、調整池・修景池、園路・広場、トイレ等を機能を損なうことなく、ゴミのない快適な空間を維持するよう、適正管理しました。老朽化した施設には修繕を行い、特に看板等の案内機能の修繕・充実・強化を図りました。

③ 植栽等の育成管理

植栽の管理方法やポイントを定めた「植栽マニュアル」や、「植物年間作業計画」により、作業漏れ・ミス防止と、高水準な植栽管理を実現しました。また、サクラ、マツ等の病虫害発生や生育障害をできる限り防止しました。

なお、作業は騒音等飼育動物に最大限配慮するほか、市の「公園緑地等維持業務共通仕様書」に準拠した形で、適正に図面・作業記録の作成・保管を行いました。

④ 遊具施設やその他の施設の維持管理

ア 遊具の維持管理

遊具は、危険箇所、壊れた部品がないか、不具合な部分がないか、近いうちに支障が生じるであろう場所はないか、など安全面に十分配慮し、毎月の点検を実施しました。また、公園施設製品安全管理士による遊具詳細点検も実施し、指摘箇所は横浜市と相談し、早急に対応しました。点検結果はすみやかに市へ報告しました。

イ その他の施設の維持管理

「安全性」と「快適性」を特に重視し、維持管理を実施しました。「公園施設点検チェックシート」を使用して年4回の施設点検を実施し、結果を市に報告しました。

(4) 施設および設備等の安全対策

① 施設および設備等の安全対策の基本的な考え方

不具合の未然防止・早期発見のための公園施設点検マニュアルを整備し、これに基づく点検を実施しました。

【令和元年度 点検実施実績】

点検名（実施日）
日常点検（毎開園日）
定期点検（各設備の法定点検日）
臨時点検・緊急点検（適宜）

5 管理運営経費実績

(1) 算定の考え方

以下の通り、管理運営経費の削減と収入の増加に取り組みました。

① 収入増加の取組

各種イベント、広報活動により、積極的に集客対策に取り組みました（P. 8 参照）。既存の協賛企業の継続と新規協賛の獲得に努め、よこはま動物園は9社、野毛山動物園は2社、金沢動物園は1社と協賛契約を締結しました。

また、動物の飼育環境改善や園内施設の改修に充てる費用として、アニマルペアレント制度（P. 27 参照）や野毛山動物園募金（P. 28 参照）を活用しました。

② 経費削減の取組

三園一体での共同発注を行う等、スケールメリットを活かし取り組みました。

【令和元年度 主な三園共同発注】

園地管理業務	動物飼料	消耗品購入
園内清掃業務	施設賠償責任保険	フローアーマット交換業務
警備・窓口等業務	自動車任意保険	
消臭芳香器交換業務	廃棄物処理業務	

③ コストバランスへの配慮

コスト削減に取り組む一方、動物園の役割や適切な質を維持するための予算を確保しました。原則として、横浜市中心企業振興基本条例を踏まえながら、横浜市緑の協会経理規程に則って入札等の方法により調達しました。

④ 委託

直営と比較し、専門業者へ委託する方が効果的、効率的と判断された業務については、委託により実施しました。

5 管理運営経費

正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位 円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	70,500	70,500	0	0		70,500
基本財産受取利息	0	0	0	70,500	70,500	0	0		70,500
特定資産運用益	29,331,974	0	1,112,925	0	30,444,899	59,532	0		30,504,431
特定資産受取利息	29,331,974	0	1,112,925	0	30,444,899	59,532	0		30,504,431
事業収益	0	1,192,693,471	2,892,607,871	0	4,085,301,342	1,459,234,697	0		5,544,536,039
事業収益	0	1,192,693,471	2,892,607,871	0	4,085,301,342	1,459,234,697	0		5,544,536,039
受取補助金等	0	0	0	0	0	86,576	0		86,576
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	86,576	0		86,576
受取負担金	0	0	0	0	0	50,433	0		50,433
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	50,433	0		50,433
受取寄付金	0	495,876	706,182	0	1,202,058	0	0		1,202,058
受取寄付金	0	495,876	706,182	0	1,202,058	0	0		1,202,058
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0		0
雑収益	1,562,802	1,404,486	682,658	0	3,649,944	5,755,960	722,560		10,128,466
受取利息	2	0	0	0	2	78	0		80
雑収益	1,562,800	1,404,486	682,658	0	3,649,944	5,755,882	722,560		10,128,386
経常収益計	30,894,776	1,194,593,833	2,895,109,636	70,500	4,120,668,745	1,465,187,198	722,560	0	5,586,578,503
(2) 経常費用									
事業費	98,587,455	1,331,576,203	2,921,291,372	0	4,351,455,030	1,239,813,222			5,591,268,252
役員報酬	273,132	874,022	846,709		1,993,863	546,265			2,540,128
役員賞与	45,000	144,000	139,500		328,500	90,000			418,500
給料手当	25,853,861	243,291,710	853,124,662		1,122,270,233	133,430,222			1,255,700,455
賞与引当金繰入額	2,059,661	22,713,207	76,611,562		101,384,430	7,179,468			108,563,898
賃金	4,259,568	174,695,233	48,433,636		227,388,437	56,557,926			283,946,363
派遣者賃金	0	0	6,530,486		6,530,486	12,132,952			18,663,438
退職給付費用	726,815	5,990,443	36,849,990		43,567,248	4,712,488			48,279,736
法定福利費	5,069,413	56,397,724	151,316,818		212,783,955	25,885,234			238,669,189
福利厚生費	321,495	6,052,979	5,636,348		12,010,822	1,060,131			13,070,953
教育研修費	200,835	2,143,273	1,741,512		4,085,620	513,799			4,599,419
会議費	0	0	83,613		83,613	0			83,613
旅費交通費	507,292	2,625,103	6,147,881		9,280,276	1,082,462			10,362,738
通信運搬費	1,350,765	6,601,230	6,382,898		14,334,893	2,830,350			17,165,243
減価償却費	181,420	2,181,004	19,835,166		22,197,590	42,566,939			64,764,529
公共施設負担金償却費	0	0	0		0	99,196,348			99,196,348
消耗什器備品費	0	1,863,680	917,932		2,781,612	779,382			3,560,994
指定管理対象財産購入費	0	8,767,184	9,159,444		17,926,628	0			17,926,628
消耗品費	14,748,355	37,941,602	202,641,163		255,331,120	6,669,118			262,000,238
修繕費	181,440	40,408,495	61,515,735		102,105,670	9,151,458			111,257,128
印刷製本費	342,235	5,451,895	14,981,307		20,775,437	5,355,440			26,130,877
燃料費	58,227	1,994,520	1,897,233		3,949,980	1,301,956			5,251,936
光熱水料費	300,957	120,478,818	258,950,904		379,730,679	19,120,085			398,850,764
賃借料	3,119,660	21,473,206	32,137,743		56,730,609	56,903,561			113,634,170
管理許可使用料	0	0	0		0	211,880,879			211,880,879
保険料	25,913	2,681,884	1,200,426		3,908,223	1,249,136			5,157,359
諸謝金	786,450	8,213,511	5,270,126		14,270,087	472,456			14,742,543
交際費	0	160,399	111,588		271,987	0			271,987
渉外費	0	368,878	310,354		679,232	17,548			696,780
諸会費	0	131,000	3,195,006		3,326,006	212,500			3,538,506
租税公課	314,088	37,638,482	117,172,323		155,124,893	50,111,946			205,236,839
支払負担金	27,969,945	2,853,000	1,587,563		32,410,508	257,280			32,667,788
支払助成金	7,613,800	98,000	5,000		7,716,800	0			7,716,800
支払寄付金	0	0	609,730		609,730	0			609,730
委託費	2,011,370	515,971,453	972,186,280		1,490,169,103	313,778,980			1,803,948,083
手数料	197,103	679,620	5,098,666		5,975,389	889,286			6,864,675
広告費	66,003	593,753	18,628,016		19,287,772	135,515			19,423,287
仕入代金	0	0	0		0	173,012,927			173,012,927
雑費	2,652	96,895	34,052		133,599	729,185			862,784
管理費							33,166,328		33,166,328
役員報酬							9,787,464		9,787,464
役員賞与							1,641,500		1,641,500
給料手当							7,649,186		7,649,186
賞与引当金繰入額							823,462		823,462
賃金							207,715		207,715
退職給付費用							568,348		568,348
法定福利費							1,660,615		1,660,615
福利厚生費							216,962		216,962
教育研修費							157,047		157,047
旅費交通費							75,261		75,261
通信運搬費							465,177		465,177
減価償却費							121,823		121,823
消耗品費							1,128,237		1,128,237
印刷製本費							180,893		180,893
燃料費							1,954		1,954
光熱水料費							202,092		202,092
賃借料							1,791,051		1,791,051
保険料							1,463		1,463
諸謝金							3,202,521		3,202,521
交際費							104,218		104,218
渉外費							403,706		403,706
諸会費							418,880		418,880
租税公課							198,822		198,822
支払負担金							230,000		230,000

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計 経営事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
	緑化推進事業	公園事業	動物園事業	共通	小計				
支払助成金							684,000		684,000
委託費							1,068,754		1,068,754
手数料							129,075		129,075
広告費							44,321		44,321
雑費							1,781		1,781
経常費用計	98,587,455	1,331,576,203	2,921,291,372	0	4,351,455,030	1,239,813,222	33,166,328	0	5,624,434,580
評価損益等調整前当期経常増減額	△67,692,679	△136,982,370	△26,181,736	70,500	△230,786,285	225,373,976	△32,443,768	0	△37,856,077
基本財産評価損益等	0	0	0	△60,758	△60,758	0	0	0	△60,758
特定資産評価損益等	△3,340,157	0	0	0	△3,340,157	0	△1,162,000	0	△4,502,157
評価損益等計	△3,340,157	0	0	△60,758	△3,400,915	0	△1,162,000	0	△4,562,915
当期経常増減額	△71,032,836	△136,982,370	△26,181,736	9,742	△234,187,200	225,373,976	△33,605,768	0	△42,418,992
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
固定資産売却益	0	26,089	0	0	26,089	0	0	0	26,089
経常外収益計	0	26,089	0	0	26,089	0	0	0	26,089
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	2	7	0	9	175,503	31,927	0	207,439
経常外費用計	0	2	7	0	9	175,503	31,927	0	207,439
当期経常外増減額	0	26,087	△7	0	26,080	△175,503	△31,927	0	△181,350
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△71,032,836	△136,956,283	△26,181,743	9,742	△234,161,120	225,198,473	△33,637,695	0	△42,600,342
他会計振替額	0	0	0	212,829,556	212,829,556	△243,432,834	30,603,278	0	0
うち収益の繰入				212,829,556	212,829,556	△212,829,556	0	0	0
うち資産の移転				0	0	△30,603,278	30,603,278	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△71,032,836	△136,956,283	△26,181,743	212,839,298	△21,331,564	△18,234,361	△3,034,417	0	△42,600,342
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	1,849,500	0	0	1,849,500
過年度法人税等調整額	0	0	0	0	0	△4,600	0	0	△4,600
当期一般正味財産増減額	△71,032,836	△136,956,283	△26,181,743	212,839,298	△21,331,564	△20,079,261	△3,034,417	0	△44,445,242
一般正味財産期首残高					324,811,327	2,720,581,311	5,566,741	0	3,050,959,379
一般正味財産期末残高					303,479,763	2,700,502,050	2,532,324	0	3,006,514,137
II 指定正味財産増減の部									
受取横浜市補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	11,970,239	0	0	0	11,970,239	0	0	0	11,970,239
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	30,742	30,742	0	0	0	30,742
特定資産評価損	33,390,318	0	0	0	33,390,318	0	0	0	33,390,318
一般正味財産への振替額	0	0	△706,182	0	△706,182	△137,009	0	0	△843,191
当期指定正味財産増減額	△21,420,079	0	△706,182	△30,742	△22,157,003	△137,009	0	0	△22,294,012
指定正味財産期首残高					2,631,642,738	338,750	0	0	2,631,981,488
指定正味財産期末残高					2,609,485,735	201,741	0	0	2,609,687,476
III 正味財産期末残高					2,912,965,498	2,700,703,791	2,532,324	0	5,616,201,613